

トランスレーションフォーオール

MAY

JUNE 2023



TOKYO

TRANSLATION

for ALL

2023年5月



6月

東京

日本語表現の翻訳をかんがえる

リアル公演

contact Gonzo

× やんツー

jactynoggzontanaco

ジャクテーノ愚・

存たアココ



身体

AI知能が身体の動きを言語化する
TRANSLATION

言語

身体と人工知能、知をめぐる 共進化の歴史的な一幕

即興をベースとした身体を表現するパフォーマンス集団contact Gonzoと、デジタルメディアを基盤に表現の主体性を問う作品を多数展開しているやんツーによる、「翻訳の可能性と不可能性」をテーマにした新作パフォーマンス。2019年に制作した『untitled session』での創作をアップデートする。

演出・構成：contact Gonzo (コンタクト・ゴゾン)

やんツー

本パフォーマンス作品は、やんツーが制作した自走する人工知能を通して、contact Gonzoの身体パフォーマンスが画像として認識(誤認)、言語化、発話されます。2019年から比べると、近年、自然言語を扱う対話型のAIが大きな進化を遂げました。本作は、最新の対話型AIをシステムに組み込み、新たな翻訳者として身体表現に介入させることで、未知の知の形態を炙り出します。

これまでの試み



OPEN SITE 2018-2019「untitled session」
トーキョー・アート・スペース本郷 2019
撮影：永田雅裕 画像提供：Tokyo Arts and Space

日時 5月19日(金) - 21日(日)

5月19日(金) 19:00
5月20日(土) 15:00 ※フアンターゲあり
5月21日(日) 15:00

場所

ANOMALY
東京都品川区東品川1-33-10

参加費

一般(特典付) 6,000円
一般 前売 3,000円・当日 3,500円
U25 前売 2,500円・当日 3,000円

※特典：本パフォーマンス中にうまれた作品の一部をさしあげます。前売りのみ数量限定販売。
※当日券の販売有無は、予約状況によって異なります。
※観覧手帳をお持ちの方1名につき、介助者1名のみ無料
取り扱い：Peatix・当日券(詳細はWebサイトへ)

さまざまな鑑賞方法

目で 耳で AIと人間がパフォーマンスの様子を音声言語にします
※AIによる鑑賞のみ

会場設備

日時 5月27日(土)

14:30 ~ 15:30

場所 渋谷パルク10F「CommUNE」

および屋外スペース

(雨天時は「CommUNE」のみにて実施)

参加費 500円 (Peatix・当日券)

※観覧手帳をお持ちの方1名につき、介助者1名のみ無料
※小学生以下無料
取り扱い：Peatix・当日券(詳細はWebサイトへ)

対象

どなたでも
耳の間こえない人、目の見えない人、障音のある人もぜひご参加ください

さまざまな鑑賞方法

目で 耳で 子どもと 非言語で 音声ガイド 手話

会場設備

リアル公演

蓮沼執太

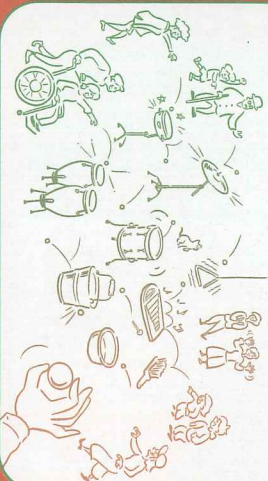
梅原徹

宮坂遼太郎

参加型演奏会

PLAY?

-あそぶ?おとをだす?



あそび

日常の音と旋律が往来する
TRANSLATION

音楽

からだやこころを動かすこと(PLAY)、 それは音を出してみること(PLAY)、 かもしれない?

楽器が演奏できなくても、リズム感がなくても、大人でも、子どもでも、聞こえない人も、見えない人も、車椅子を使っていたり体が動かしにくい人も、なかなか外出が難しい人も、誰もが一緒にPLAYできる演奏会です。視線入力で音楽をつくる演奏者も遠隔で参加します。

企画・構成・進行：蓮沼執太 (音楽家)
梅原徹 (音楽家/美術家)
宮坂遼太郎 (パーカッション奏者)
ゲスト：細井徳太郎 (ギターリスト)
梶山敏平 (サウンドデザイナー)

これまでの試み



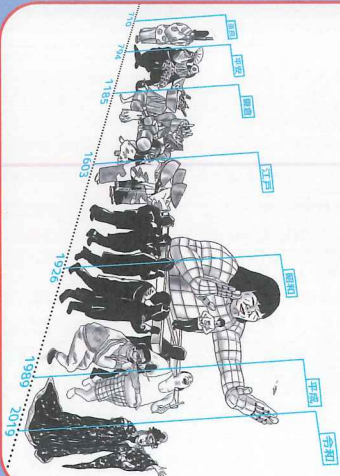
まるっとみんなまで映画祭 2022 in NASU での
『PAPEER?/かみ?』(音楽：蓮沼執太、映像：水原自子)
上映の様子 (フアンターゲあり)

この演奏会は、私たちの日々の生活にあふれる「音」を使って、一緒にPLAYしてみたい会です。自分のからだを使って「音」を出してみたり、ときにははだれかの「音」を聴いてみたり、もしかしたら触れる「音」だってあるのかも?公園に遊びに出かけるような気持ちで、ぜひPLAYしにきてください。

オンライン

AR三兄弟

文明単位の
ラゾング



唯一性

身体データで距離を越える
TRANSLATION

偏在性

小林幸子と鎮座DOPENESSが、日本の歴史、時代単位で聞こえてくる音を、過去から未来へむかって吟じるパレード。

AR技術を活用した本邦初公開の新曲『文明単位のラゾング』を、川田十夢 (AR三兄弟) 総合演出にて立体的に発表。手話つき動画もTHEATRE for ALLにて公開予定。

総合演出：川田十夢
開発：AR三兄弟
作品(ラゾング) 出演：鎮座DOPENESS (ラゾング)、小林幸子 (歌手)、鎮座DOPENESS (ラゾング)、石川浩司 (シンガー、ラゾングライター)、ヨネダ2000 (笠人)、いがみの権太(人形遣い(人形浄瑠璃文楽))、おわら風の盆(伝統)、チャンココ(念仏踊り)、音無史哉(笙)
音楽：運沼軌大

オンライン



「超楽芸術 スタンドプレー」
オル太



「瀕死の白鳥」『瀕死の白鳥 その死の真相』
Dance Base Yokohama
and more...

さまざまな鑑賞方法
日本語字幕
字幕
音声ガイド

オンライン

バリアフリーなオンライン劇場
「THEATRE for ALL」で
フェスティバルを築きましょう

見る

田中みゆき、KYOTO EXPERIMENTのキュレーションによる海外の話題作を続々公開!
※バリアフリー化した映像を常時100種類以上配信中です

読む

作品の創作背景やアタクセナビリティについて理解を深めるインタビュや記事をお楽しみください。

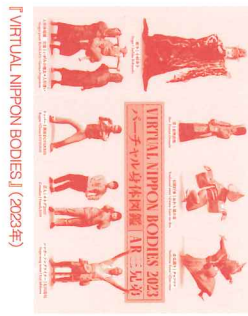
知る

6月には本プロジェクトを振り返るカンファレンスイベントを開催します。

あらゆる表現は時間の制約に対する挑戦である。レコードの発明、ラジオやテレビの誕生からインターネットへと続き、SNSの隆盛期である現代の時間軸は加速度を増している。文明ごとの変遷に思いを馳せて立体的な音響を記録・再生するパレードを、レコードという単位から立ち上げます。

最新のAR技術を活用した祝祭には、いつでもどこでもiPhoneで参加可能。文明とともに紡がれてきたパレードをお楽しみください。

これまでの試み



「VIRTUAL NIPPON BODIES」(2023年)

日時 5月27日(土)～

参加費 なし

参加方法 アプリ「社会実験」

お手元のスマートフォンから、特設アプリ「社会実験」をダウンロードいただく、いつでも、どなたでも目の前で「バーチャル身体図鑑」を鑑賞できます。



無料
対応機種：iPhone8以上
推奨環境：iOS13.0以上
※本アプリはiOSのみとなります。

さまざまな鑑賞方法



アクセシビリティ

さまざまな鑑賞方法・作品の楽しみかた



目で楽しむ



子どもと楽しむ



手話



字幕



車椅子エリア



多目的トイレ



耳で楽しむ



言語を超えて楽しむ (ノンバーバル)



音声ガイド



エレベーター

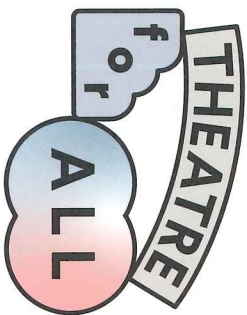


おむつ交換台



授乳室

会場設備について
詳細はWebサイトに掲載しています。



presented by
THEATRE for ALL
だれでも、いつでも、どこからでも。
バリアフリーなオンライン劇場

THEATRE for ALL
公式サイト

音声ガイド・バリアフリー字幕つき舞台
映像・映画が定額で見放題

リアル公演

contact Gonzo

× やんツ

jactynoggzontanaco

ジャクテイー乃愚・

存たアココ



身体

AI知能が身体の動きを言語化する TRANSLATION

言語

身体と人工知能、知をめぐる 共進化の歴史的な一幕

即興をベースとした身体を表現するパフォーマンス集団contact Gonzoと、デジタルメディアを基盤に表現の主体性を問う作品を多数展開しているやんツによる、「翻訳の可能性と不可能性」をテーマにした新作パフォーマンス。2019年に制作した『untitled session』での創作をアップデートする。

演出・構成：contact Gonzo (コンタクト・ゴゾン) やんツ

本パフォーマンス作品は、やんツが制作した自走する人工知能を通して、contact Gonzoの身体パフォーマンスが画像として認識(誤認)、言語化、発話されます。2019年から比べると、近年、自然言語を扱う対話型のAIが大きな進化を遂げました。本作は、最新の対話型AIをシステムに組み込み、新たな翻訳者として身体表現に介入させることで、未知の知の形態を炙り出します。

これまでの試み



OPEN SITE 2018-2019 [untitled session] トーキョー・フューニクス・スペース本郷 2019 撮影：永田雅裕 画像提供：Tokyo Arts and Space

日時 5月19日(金)-21日(日)

5月19日(金) 19:00
5月20日(土) 15:00 ※アフタートークあり
5月21日(日) 15:00

場所 ANOMALY

東京都品川区東品川1-33-10

参加費

一般(特典付) | 6,000円
— 前売 3,000円・当日 3,500円
U25 | 前売 2,500円・当日 3,000円

※特典：本パフォーマンス中にうまれた作品の一部をさしあげます。前売りのみ数量限定販売。
※当日券の販売有無は、予約状況によって異なります。
※障害手帳をお持ちの方1名につき、介助者1名のみ無料取り扱い：Pealix・当日券(詳細はWebサイトへ)

さまざまな鑑賞方法

目で 耳で AI人間がパフォーマンスの様子を音声言語にします ※AIによる鑑賞のみ

会場設備

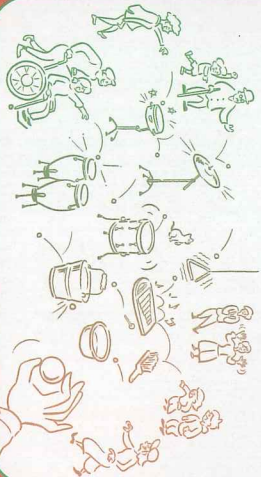
リアル公演

蓮沼執太
梅原 徹
宮坂遼太郎

参加型演奏会

PLAY?

—あそぶ?おとをだす?



あそぶ

日常の音と旋律が往来する TRANSLATION

音楽

からだやこころを動かすこと(PLAY)、それは音を出してみること(PLAY) かもしれない?

楽器が演奏できなくても、リズム感がなくても、大人でも、子どもでも、聞こえない人も、見えない人も、車椅子を使っていたり体が動かしにくい人も、なかなか外出が難しい人も、誰もが一緒にPLAYできる演奏会です。視線入力で音楽をつくる演奏者も遠隔で参加します。

企画・構成・進行：蓮沼執太 (音楽家)
梅原 徹 (音楽家/美術家)
宮坂遼太郎 (パーカッション奏者)
ゲスト：細井徳太郎 (ギタリスト)
梶山敏平 (サウンドデザイナー)

この演奏会は、私たちの日々の生活にあふれる「音」を使って、一緒にPLAYしてみたい会です。自分のからだを使って「音」を出してみたり、ときにはただれかの「音」を聴いてみたり、もしかしたら触れる「音」だってあるのかも?公園に遊びに出かけるような気持ちで、ぜひPLAYしにきてください。

これまでの試み



まるとみんまで映画祭 2022 in NASU での『PAPER7/かみり』(音楽：蓮沼執太、映像：水原自子) 上映の様子 (フアンチャーター：梅原徹)

日時 5月27日(土)

14:30~15:30

場所 渋谷パルク10F [CommUNE]

および屋外スペース

(雨天時は「CommUNE」のみにて実施)

参加費 500円 (Pealix・当日券)

※障害手帳をお持ちの方1名につき、介助者1名のみ無料 ※小学生以下無料

取り扱い：Pealix・当日券 (詳細はWebサイトへ)

対象 どなたでも

耳の聞こえない人、目の見えない人、障害のある人もぜひご参加ください

さまざまな鑑賞方法

目で 耳で 子どもと 非言語で 音声ガイド 手話

会場設備